

1 次不等式

$$x + 3 > 0 \quad \text{ならば}$$

$$x > -3$$

$$2x + 3 > 0 \quad \text{ならば}$$

$$2x > -3$$

$$x > -\frac{3}{2}$$

一般には、

x を変数、 a と b を定数とするとき、

$$ax + b > 0 \quad \text{ならば}$$

$$ax > -b$$

$$x > -\frac{b}{a}$$

これらを
 $y=ax+b$ の一次関数と見て
グラフを描いて
その範囲を求めようというのが
1 次関数と不等式のテーマですが、
それはあまりメリットが無い。

にもかかわらず
1 項を建てるのは、
2 次不等式を考えるときに
判りやすいからです。

それゆえ、

2 次関数と不等式で取り上げることにします。